

北海道開発局就業体験実習(インターンシップ)について

北海道開発局では、就業体験を通じ、学生等の学習意欲を喚起し、高い就業意識を育成するとともに、北海道開発行政に対する理解を深めてもらうことを目的として、学外実習として1週間から2週間程度の就業体験実習生の受け入れを行っています。

また、令和2年度より、学生からのニーズを踏まえて短期（3日間程度）で複数の事業について学ぶことができる「短期実習」も開始しています。

実習対象

- ・大学生 及び 高等専門学校生 (大学院含む)
- ・高等学校生 及び 専門学校生

期間

6月上旬～9月下旬

部門

河川事業、道路事業、港湾・空港・漁港事業、農業農村整備事業、電気通信事業、機械事業、営繕事業（建築・建築設備）

実習内容例

◆ 北海道開発局の事業概要説明

◆ 現場見学

…工事現場や管理施設を見学してその役割や日々の管理などについて学んでもらいます
(ダム、堤防、道路、橋梁、トンネル、港、空港、頭首工 など)

◆ 実際の業務

…職員が実際に行っている各種調査や業務を体験してもらいます
(工事現場監督、安全パトロール、流量観測調査、堤防点検、道路点検、図面作成 など)

◆ 意見交換会

…職員の生の声をきいて職場の雰囲気を感じてください

◆ 実習成果の発表 など

令和6年度の北海道開発局就業インターンシップの様子

水質調査 (河川事業)



現場見学 (港湾事業)



打合せ



現場見学 (道路事業)



現場監督 (農業事業)



若手意見交換会

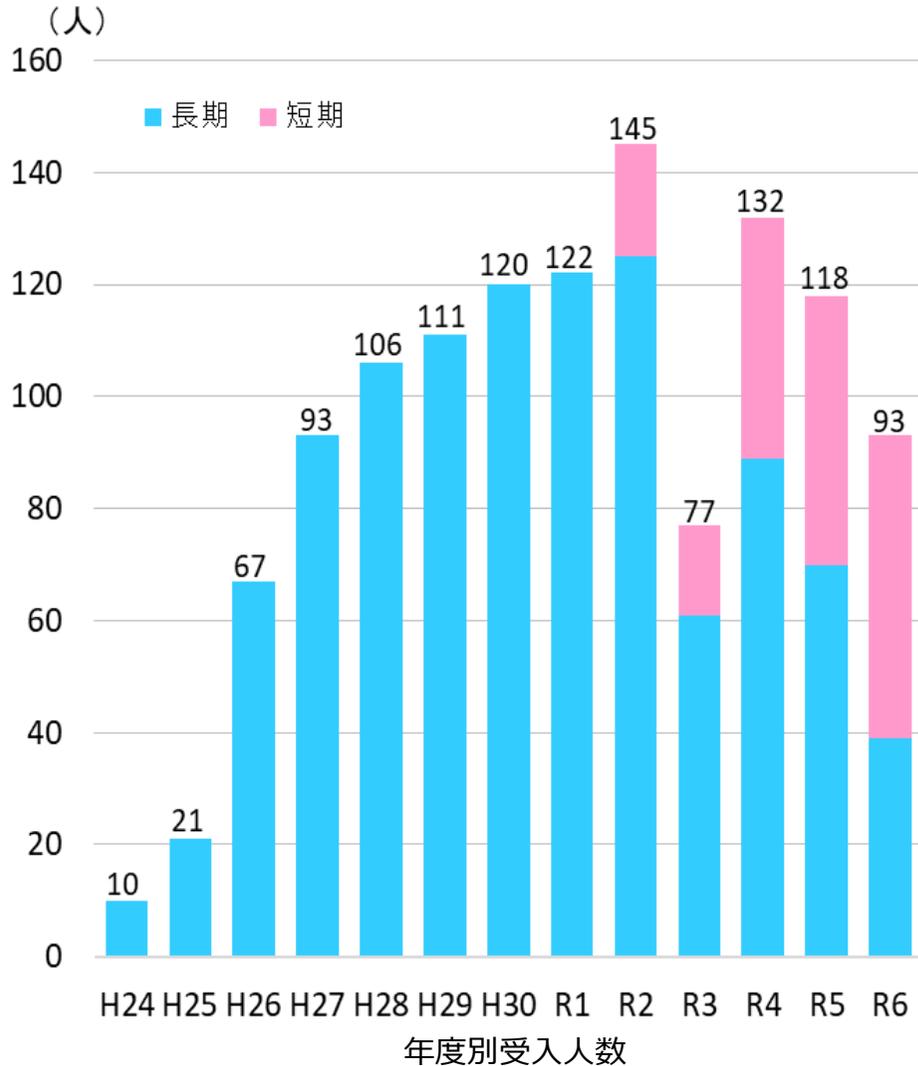


● 参加した実習生の声 ●

- 北海道に住んでいる人たちの暮らしをよりよくするための仕事だと感じました。
- 充実した労働環境と仕事への壮大なやりがいがあると感じました。
- 開発局は堅いイメージだったが、暖かい職場だと感じました。
- 北海道開発局で働いてみたいと感じました。今回のインターンシップで対応して頂いた方々がとても親切で、業務内容等を丁寧に教えて頂いたため、とても雰囲気の良い職場であると感じました。

北海道開発局就業体験実習(インターンシップ)について

インターンシップ期間別受入状況

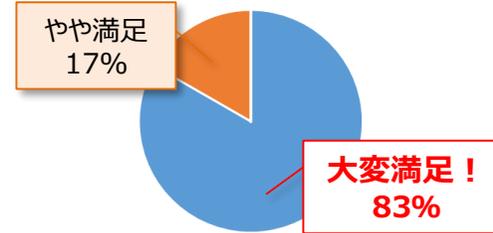


※ R3年度は、緊急事態宣言の影響により受入中止が発生したため、受入人数が減少した。

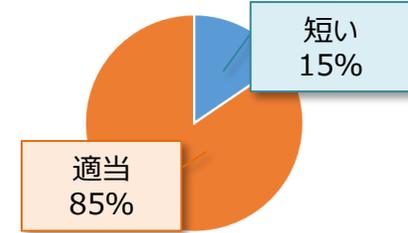
令和6年度 インターンシップアンケート

アンケート回答 高校生：46名、大学生等：39名、計85名

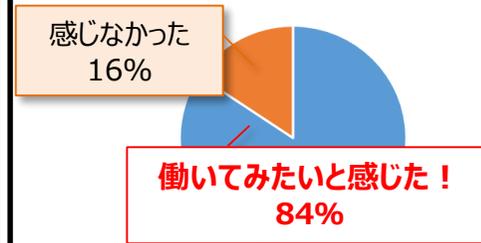
1. インターンシップの満足度を教えてください。



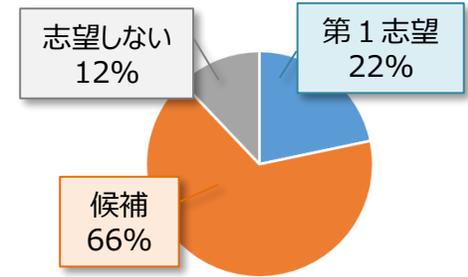
2. インターンシップの期間はどうか。



3. インターンシップを通じて「北海道開発局(または国土交通省)で働いてみたいと感じましたか。」



4. 北海道開発局への就職を志望しますか。



5. 今回のインターンシップにおいて最も印象に残っている実習内容、あるいは最も有意義だと感じた実習内容を教えてください。

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ダムの現場見学 ・遊水地の現場見学 ・道路工事の現場見学 ・トンネル工事の現場見学 ・新千歳空港工事の現場見学 ・各通信施設の現場見学 ・滑走路液状化対策の夜間監督体験 ・TEC-FORCEの取り組み紹介 ・打合せ参加 | <ul style="list-style-type: none"> ・船からの河川巡視体験 ・船からのダム湖巡視体験 ・工事機器の操作体験 ・ドローン操作体験 ・CAD体験 ・橋梁点検車への乗車体験 ・アスファルトプラント見学 ・地質調査見学 ・若手職員との意見交換 等 |
|--|--|